

『クリトン』を読む 第一回授業論点整理

問2 あなたがソクラテスだったら、牢屋から逃げ出しますか？

	逃げない派	逃げる派
①	<ul style="list-style-type: none"> <li>ただ生きるだけでなく、善く生きるべき。うっかり法を破るのではなく、自ら破ることは正しくないことである。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分が100%悪いことをしたと思えないのに向こうの都合で死刑にされるのはイヤ。</li> </ul>
②	<ul style="list-style-type: none"> <li>アテネ人の総意による法だから</li> <li>アテネに住む、アテネに満足する人々がお互いが少しずつ我慢することによって、アテネの法に従うのだ。＜略＞それを今、自分の命を救うためだけにアテネとの約束「法律を守る」ということを破ってもいいのか？</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>死ぬことがイヤ</li> <li>国の法への疑問を持ちながら死ぬのがイヤ</li> </ul>
③		<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の親友のため</li> </ul>
番外	<ul style="list-style-type: none"> <li>善悪の基準は存在しない（はっきりしない）ので、牢屋から逃げるのが「悪いこと」なのかどうかは状況によって変わる。だから、「多くの人」や「善悪を理解している人」の意見によって自分の善悪の基準をつけるのではなく、あくまで最終的に自分が正しいと思う行動を取るべきだと思うので、 → &lt;逃げる&gt;</li> </ul>	

問3 あなたは一般的にどのような法であっても、それに従うべきだと思いますか、それとも従う必要はないと思いますか。

	従うべき	従う必要はない（部分的には）
①	<ul style="list-style-type: none"> <li>法はその地域や国で決められたルールだから、その場にいる場合には従うべき</li> <li>法の及ぶ範囲にいる限り、その法に賛同している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>気に入らなければ出て行けばいい（のだから、従う必要はない）</li> </ul>
②	<ul style="list-style-type: none"> <li>法に従う前提で自分たちの生活は成り立っている</li> <li>一人でも従わないと国民全体の秩序が乱れる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>要となる大きな法でなければおかしなくてもよい</li> <li>法があまりにも権利を侵害しているならば、従う必要はない</li> </ul>
③	自分の利益や損益で、法に従う・従わないの差ができてはダメだと思う。	

## ソクラテス第二回授業計画

目標：

- ・ 対立の根っこ（あるいは共有する根っこ）を考えさせる
- ・ 公民的な概念が成立する場に遡って、それを理解する

<対立の根っこ or 共有する根っこワークシート>

### 問2

- ① 法を破ることは正しいことか、それとも悪いことか  
→問3全体の問題へ
- ② みんなの利益を考えるか、私の利益を考えるか  
→「公」のためにどこまで「私」を制限しなければならないのか  
→問3②の問題へ

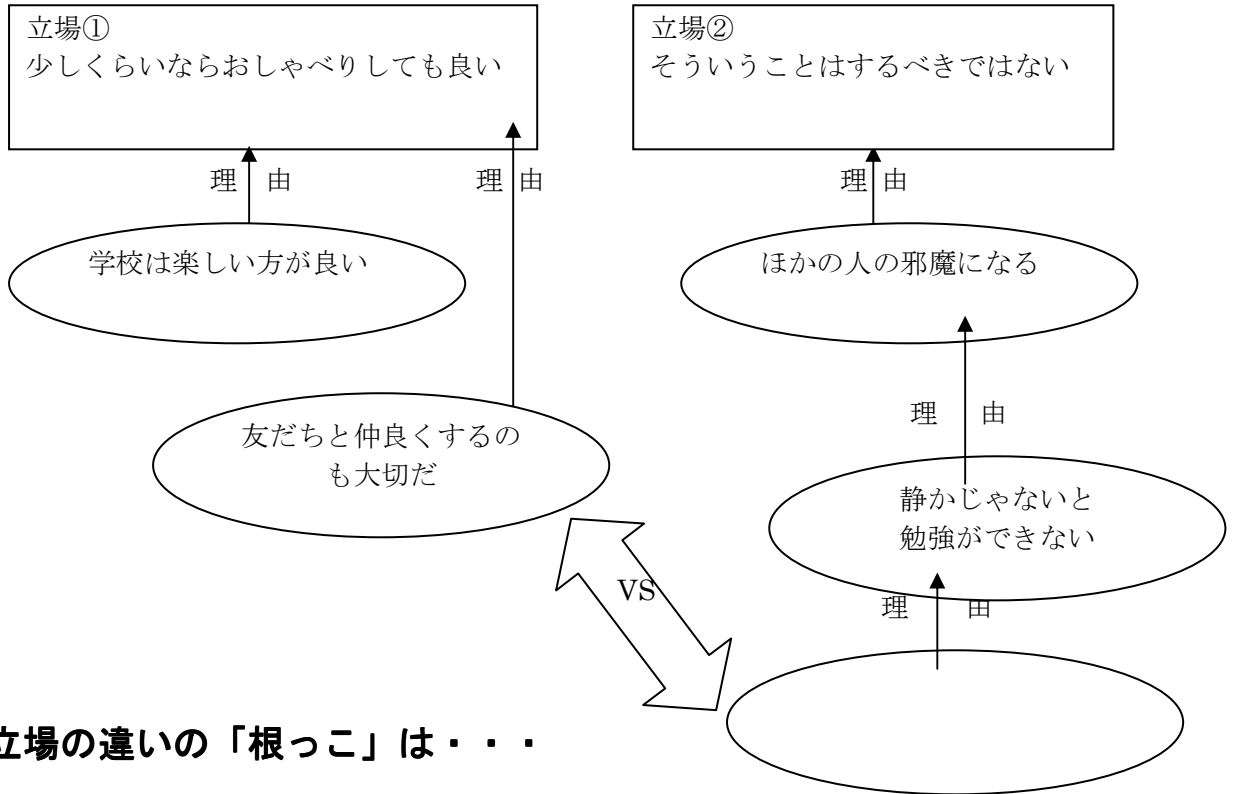
### 問3

- ① 共通の根っこ「法がイヤならその国から出て行けばよい」  
→本当にそれでいいのか？  
例) 学校（の校則）を選択するように国（の法律）を選択することはできるのか？  
→State と Country
- ② 法は何の為に存在しているのか
  - ・ 「従うべき派」 …秩序を守るため  
秩序を重視→権利が侵害されるおそれ
    - 1) 一般的な権利の侵害＝明らかな悪法
    - 2) ある特定の人の権利の侵害…ソクラテスケース？
  - ・ 「従う必要ない派」 …権利を守るため  
権利を重視→秩序が乱れるおそれ（個人の権利ばかりを主張する社会）  
「法が権利を守るために存在する」ということは、法の前に権利が存在している必要がある→「自然権」

⇒次回（第三回）、「自然権と社会契約論」へ

## 立場の違いの「根っこ」を考える

テーマ：授業中に少しくらいなら授業に関係ないことを友達とおしゃべりしても良いか？



立場の違いの「根っこ」は・・・

### 学校は何のためにあるか

立場① 「楽しんだり、友達とのコミュニケーションを学ぶためにある」

立場② 「勉強をするためにある」

